

東京工業大学 2021 年度学士課程入学者対象
データサイエンス・AI 全学教育プログラム
履修案内

2022.09

【注意】 本案内の記載事項は 2021 年度学士課程入学者（学籍番号の最初の 3 桁が 21B の学生） にのみ適用されます。学籍番号が該当しない場合は適用されません。

1. データサイエンス・AI 全学教育プログラムについて

今日のデジタル情報化社会においては、数理・データサイエンス・AI の果たす役割が急速に大きくなっており、社会生活、産業、研究開発などあらゆる分野において基盤となり始めています。これに対し東京工業大学では、理工系総合大学である特徴を活かし、専門分野に依らず将来的にデータサイエンス・AI を駆使して問題解決ができる能力を身につけた人材を育成するため、リテラシーレベルからエキスパートレベルまでのデータサイエンス・AI に関する一貫した教育を行うことを目的とした全学教育プログラム（「データサイエンス・AI 全学教育プログラム」と称します。省略して“DSAI 全学教育プログラム”と表記することもあります。）を 2021 年度から開始しています。

この教育プログラムには、学士課程向けとして「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」の二つがあり、それぞれが文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」（https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00001.htm）の「リテラシーレベル」と「応用基礎レベル」に相当します。

データサイエンス・AI 全学教育プログラム（リテラシーレベル）

数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を習得し、それらを利活用できる基本的な能力を身につけることを目標とします。

データサイエンス・AI 全学教育プログラム（応用基礎レベル）

リテラシーレベルの素養を基に、よりレベルの高い発展的素養や実践スキルを習得し、エキスパートレベルの高度な素養の習得に繋がる能力を身につけることを目標とします。

2. データサイエンス・AI 全学教育プログラム（リテラシーレベル）

2.1 プログラム修了要件

理工系教養科目(情報)の 4 科目

「情報リテラシ第一」 [LAS.I111]

「情報リテラシ第二*」 [LAS.I112] (*条件があります。詳細は 2.2 を参照してください)

「コンピュータサイエンス第一」 [LAS.I121]

「コンピュータサイエンス第二」 [LAS.I122]

を履修し、それぞれの単位（合計 4 単位）取得していることがリテラシーレベルの修了要件となります。

2.2 「情報リテラシ第二」の履修に関する条件

2.2.1 2021年度「情報リテラシ第二」クラス 1a(IL2)及び 4b(IL2)の単位取得者

2021年度に実施された授業科目「情報リテラシ第二」のクラス 1a(IL2) (担当：新山祐介) 及び 4b(IL2) (担当：小林憲正) を履修し、同科目の単位を取得した場合にのみ、そのまま修了要件の一部として認められます。その他のクラス (2022年度以降に実施の全クラスを含む) を履修した場合は 2.2.2 節で説明する補習の聴講が必要です。

2.2.2 上記に該当しない「情報リテラシ第二」の単位取得者

リテラシーレベルの学修内容の一部を補完する補習 (2022年度第3Qに実施予定、100分×2回、担当：長橋 宏) を聴講し、レポートを提出して合格と判定された場合、取得済みの同科目の単位が修了要件の一部として認められます。

なお、補習は通常の講義とは異なりリテラシーレベルの修了認定のみに関わるもので、教務システム上での履修申告は必要ありません。補習の実施に関する詳細は DSAI 全学教育プログラムホームページ (<https://www.dsai.titech.ac.jp/>) 上で別途お知らせします。

データサイエンス・AI 全学教育プログラム修了に単位修得が必要な授業科目 (2021年度入学者)	
リテラシーレベル	応用基礎レベル
情報リテラシ第一	コンピュータサイエンス第二**
情報リテラシ第二*	応用基礎データサイエンス・AI 第一
コンピュータサイエンス第一	応用基礎データサイエンス・AI 第二
コンピュータサイエンス第二**	

* 情報リテラシ第二の単位には条件があります (下表参照)。

** リテラシーレベルと応用基礎レベルで共通です。

情報リテラシ第二 (2021年度入学者)	条件
2021年度クラス 1a(IL2), 4b(IL2)	なし
上記に該当しないクラス	科目の単位に加え、補習*の聴講とレポート提出による補習の合格判定

* 補習は 2022年度第3Qのみ実施予定。実施詳細は DSAI 全学教育プログラムホームページに掲載。

3. データサイエンス・AI 全学教育プログラム (応用基礎レベル)

3.1 プログラム修了要件

理工系教養科目(情報)の1科目

「コンピュータサイエンス第二」 [LAS.I122]

と全学向け 200 番台科目

「応用基礎データサイエンス・AI 第一」 [XCO.T281]

「応用基礎データサイエンス・AI 第二」 [XCO.T282]

を履修し、それぞれの単位 (合計 3 単位) 取得していることが応用基礎レベルの修了要件となります。

3.2 「コンピュータサイエンス第二」について

2021年度学士課程入学者に対して「コンピュータサイエンス第二」はリテラシーレベルと応用基礎レベルで共通の科目となっています。同科目を履修・単位取得していれば、いずれのレベルにおいても修了要件中の1単位として認められます。

4. 履修登録・修了認定について

4.1 履修登録

リテラシーレベル及び応用基礎レベルのいずれにおいても、修了認定を受けるためにはそれぞれの教育プログラムへの履修登録が必要となります。履修登録は通常の履修申告とは異なり、DSAI 全学教育プログラムホームページ (<https://www.dsai.titech.ac.jp/>) から行ってください。

登録期間：科目の履修申告期間と同じ

追加登録・登録取消：DSAI 全学教育プログラムホームページ掲載の手順に従ってください

4.2 修了認定

前学期末および後学期末に履修登録者の修了認定判定を行い、修了者には修了証を交付します。修了証の交付方法の詳細についてはDSAI 全学教育プログラムホームページに掲載します。

5. 本教育プログラムに関する問合せ先

DSAI 全学教育プログラムホームページ (<https://www.dsai.titech.ac.jp/>) 上の問合せフォームにより連絡してください。

よくある質問と回答

Q：修了要件に含まれる科目の一部または全てを履修前あるいは履修後でも本教育プログラムに履修登録ができますか。

A：学士課程在籍中であれば可能です。

Q：リテラシーレベルの修了認定後でなければ、応用基礎レベルの履修や修了ができませんか。

A：リテラシーレベルと応用基礎レベルの教育プログラムは別個（文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」でも同様）ですので、それぞれ独立に履修可能です。ただし、応用基礎レベルの学修内容の一部はリテラシーレベルの学修内容を前提にしていることに留意してください。

Q：修了証はどのように発行されますか。

A：現在準備中です。決まり次第 DSAI 全学教育プログラムホームページでお知らせします。

Q：リテラシーレベル教育プログラムの修了要件が複雑でよくわかりません。

A：諸般の事情により、新たな理工系教養科目（情報）である「基礎データサイエンス・AI」をリテラシーレベル教育プログラム開始初年度（2021年度）に開講できず、「情報リテラシ第二」の一部のクラスを除きリテラシーレベルの学修項目をカバーできなかったために生じた特例措置となっています（2021年度学士課程入学者にのみ適用）。

リテラシーレベル教育プログラム修了には、要件4科目4単位が取得されていて、かつ条件（下表参照）が満たされていることが必要です。

リテラシーレベル修了に必要な単位		条件
情報リテラシ第一		なし
情報リテラシ第二	2021年度クラス 1a(IL2), 4b(IL2)	なし
	上記に該当しないクラス	補習*の聴講とレポート提出（2.2.2節参照）
コンピュータサイエンス第一		なし
コンピュータサイエンス第二		なし

* 補習は2022年度第3Qのみを予定。実施詳細は DSAI 全学教育プログラムホームページに掲載。

Q：補習の聴講に教務システムへの申告が必要ですか。

A：通常の授業科目ではありませんので不要です。また、新たな単位の付与もありません。

Q：2022年度第4Q以降に補習の実施予定はありますか。

A：ありません。2021年度入学者でリテラシーレベル履修登録をし、かつ上述の「情報リテラシ第二」の条件として補習が必要な場合は、2022年度第3Qに補習を受けてください。

Q：学士課程編入生で、修了要件科目の単位認定を受けました。リテラシーレベル修了認定が受けられますか。

A：修了要件の4科目が単位認定されていて、補習の聴講とレポートによる合格判定がされれば修了と認定されます。